

ほくほく通信

ご挨拶

社会福祉法人同愛会 川崎市北部地域療育センターの運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この5月に COVID-19 が 5 類感染症に変更されるなど、これまで実施してきた様々な感染対策を見直す段階にあります。様々な制限を外してより充実した活動を行いたい一方で、様々なウイルス感染症の流行は今後もありますし、療育センターは感染対策を一段強める必要のある施設として位置づけられています。今後も状況にあわせてのご協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

年度が替わり、新しい子どもたち・新しいご家族・新しいスタッフを迎えることが続いています。新しい環境に慣れるのにかかる時間は人それぞれです。じっくり、のんびり？工夫しながら取り組んでいきましょう。

子どもたちの引き続きの成長と、必要な工夫を楽しみに探していこうと思います。引き続きのご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。



川崎市北部地域療育センター

部署紹介

通園部

通園では、基本的な生活習慣の確立、年齢や発達段階に合わせた生活経験、社会性の向上、コミュニケーションスキルの向上など、お子さん一人一人の発達上のニーズに合わせ、児童発達支援計画を作成し発達支援を行っています。クラス編成は、お子さんの年齢や発達状況、行動の様子を確認したうえで、複数日の通園（親子通園と単独通園）、幼稚園や保育園との併行通園（1日通園）、短時間グループ等、お子さんにあったクラスの提案をしています。楽しい遊びの中でお子さんらしく成長されるよう日々関わらせていただいております。



心理部

お子さんへの心理評価や保護者の方からのお話を伺いながら、今のお子さんの様子を確認し、保護者の方と一緒にお子さんを理解しながら、日々の関わりについて具体的な手立てを見つけていきます。必要に応じて、お子さんへの個別指導や保護者の方との個別面談、所属機関との連携などの支援を行います。



総務部

センターの自動ドアに入って頂くと、正面でご来所されたみなさまをお迎えする受付や通所されるお子さんの給食献立を作る栄養士、センターを気持ちよくご利用いただくための設備の営繕など、いつも療育センターを訪れてくださるみなさまと近いところで会いしています。どうぞご来所された際は、お気軽にお声掛けください。



地域支援部

ソーシャルワーカーは、お子さんの育ちの心配ごとについて相談を受けつける「相談窓口」です。生活のこと、制度のこと、どこに聞いた方がいいのか迷ったらソーシャルワーカーへご相談ください。

お子さんが安心して遊べる場所として第1・3土曜日には「ほくほく・ひろば」（園庭開放）、第2・4金曜日には子育てひろば「大きな樹」（片平子ども文化センター奥の地域訓練室）を開催しています。ぜひ、遊びにおいでください。

リハビリテーション部

作業療法（OT）は遊びながら自分の体・手先の使い方を練習したり、身の回りの動作の練習をしたりします。また、食べ方や偏食の相談も受けています。

理学療法（PT）では、日常生活に必要な運動機能の獲得・改善を行っています。また補装具や車いすなどの作製に関わり社会参加の支援を行っています。

言語聴覚療法（ST）は、ことば・コミュニケーション・きこえのご相談をお受けし、アドバイスや必要に応じた支援を行っています。



診療部

診療科は、小児科・小児神経科・児童精神科・リハビリ科・耳鼻科があります。医師の診療では、発達の課題による言葉や行動上の問題があるお子さんに対し、医療・専門分野の相談をお受けします。各専門職と連携しながらお子さんの発達の支援についてアドバイスをします。お気軽にご相談ください。